

## ■機能を知りたい

原料や抽出物、製品などに様々な機能があって、その機能の度合や効果を表示する場合、その機能の分析を行い数値化することが必要となります。

例えば、抗バイオフィルム活性（バイオフィルム形成阻害活性）や抗菌性などは、特定の菌を用いて一定の条件で分析を行い、無添加の場合と比較して、どの程度バイオフィルム形成量が減少したか、あるいは生菌数が減少したかで評価します。

抗酸化能はラジカル消去活性を指標とするもので、一般的にラジカルの50%量を消去する活性を1とします。血圧降下能についてはアンジオテンシン転換酵素（ACE）の活性を低下させる能力を数値化するもので、これも50%量消去能を1とします。

それ以外にも様々な機能の分析を行っていますので、お問い合わせください。